



1_今年も行われた絆の写真プロジェクト
 2_出品者とお客様の交流もびっくり市の魅力の1つ
 3_「アユ・マス・あまごのつかみ取り」では甲岡町長の合図で一斉に川の中へと飛び込む
 4_保育所園児らによる「きのこの歌」のダンス
 5_わんぱく広場では子どもたちがダーツに挑戦
 6_毎年大反響のきじ鍋の無料配布
 7_笑顔でフラダンスを披露する出演者
 8_北宇和高等学校馬術部による乗馬体験

翌13日、毎年恒例の町内保育所園児たちによる「きのこの歌」のダンスを皮切りに、いよいよ「でちこんか2013」が開幕。子どもたちと鬼北町のゆるキャラ「きほくん」「きじの助」の可愛らしい姿に、会場中が笑顔に包まれます。毎年、訪れた人たちを楽しませてくれる「でちこんか」の三大イベント「ジャンボきじ鍋の無料配布」、「びっくり市」、そして「特設ステージでの多彩なパフォーマンス」。今年も、「ジャンボきじ鍋の無料配布」には開始前から長蛇の列が並び、

述べ2万4,000人以上もの人が訪れた「でちこんか2013」。今年もたくさんさんの交流が生まれ、感動が生まれ、そして絆が生まれ、大盛況のうちに幕を閉じました。

「びっくり市」の通路は来場者で溢れかえり、「特設ステージでの多彩なパフォーマンス」には観客から割れんばかりの拍手が送られ、「でちこんか」の会場を大いに盛り上げました。今年も20周年記念のイベントも実施。わんぱく広場で行われた「うなぎのつかみ取り」は、プールに入りきらないほどの子どもたちで想像以上に盛り上がり、特設ステージでは、「土佐おもてなし勤王党」によるパフォーマンス、続いてものまねタレント「英明」によるスペシャルライブを実施。その爽やかな歌声とダンス、そして澄み切った歌声に会場中が酔いしれました。

でちこんか2013

ここにいる全員で作ります
 イベントと絆